

南山だより



東京都港区元麻布 3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-ky.ed.jp

子育て名人に学ぶ ー親子の絆を深めるー

副校長 安川 由美

一年生が入学し2か月が経とうとしています。様々な家庭環境で育ってきた子供たちが、社会で自立していくための一歩を踏み出したわけですから、適応するまでに時間がかかるのは当たり前です。学校生活では、様々な価値観に触れることで、嬉しいこと、楽しいこと、嫌なこと、悲しいこと等に出会うことも多いです。そして、お子さんの1つ1つの出来事に一喜一憂する保護者の方も少なからずいます。親も子育てを通して、様々な思いを経験することで成長していくものだと感じています。振り返れば、自分自身もそうでした。

さて、私たち教員はたくさんの保護者からお話を聞く機会があり、いろいろなことを学ばせていただいています。子育ては楽しいことだけではなく、悩むことも多いですが、そんな中、子育てを上手にやられている保護者に出会うと嬉しさを感じます。学ばせていただいたことを少し紹介します。

<音読カードで親からのメッセージを伝える。>

毎日の音読カード。親からサインをもらうことが多いです。担任当時、親のサインの隣りにいつも平仮名が一文字書かれているお子さんがいました。毎日音読をすると文字が1つずつ増えていきます。一か月やり続けると文字がつながって親からのメッセージに。メッセージが気になるそのお子さんは進んで音読カードに取り組んでいました。

<遊ぶように親子で学ぶ。>

2年生と言えば「かけ算」の学習。子供によって定着するスピードはそれぞれです。お風呂に一緒に入りながら、九九の練習をしているご家庭がありました。ペットボトルの下にいくつかの穴をあけ、水を入れるとシャワーのようになる道具を作ります。親子で湯船につかりながら、ペットボトルに水（お湯）を入れ、水（お湯）が全部なくなるまでに苦手な九九を唱えます。速く唱えられるようになると最初に入れる水（お湯）を減らしていきます。上手に唱えられるようになった時は、お風呂の中で親子一緒に大喜びです。

<待ち時間にひと工夫する。>

遊園地や食事の待ち時間。お話をしながら何時間も待つことも多いです。待ち時間を過ごす2つの工夫を紹介します。まず、カバンにいつも折り紙を入れている親。待ち時間があるとお子さんに折り紙を渡します。楽しそうに折り紙に取り組んでいる間に待ち時間終了。指先を使うことの大切さにも通じます。次に、同じ本を親子で読む工夫。1冊の本を順番に読み進め、自分の目印の付箋を互いに貼ります。同じ本を読むことで互いに感想を伝え合い、親の考え方や価値観を伝えるチャンスにもなります。読書を楽しむきっかけにもなったそうです。

紹介した子育ての工夫は全てアナログで、ICTの活用が進んだ今は、もっと違う形の子育て名人がいらっしやるのだろうと想像しています。ただ、時代は変わっても親子の絆を深めることが大切なのだと実感します。親子という関係を楽しみたいものです。

6月より、学びポケットでの学校だよりと学年だよりの配信を始めます。今後、段階的にペーパーレス化も検討中です。4月のテスト配信が届いていない方は再度保護者アカウントの登録をご確認ください。保護者アカウントの登録について何かありましたら、学校にご連絡ください。

【異動】○転出 安藤 慎吾 教諭（筈小学校）

○転入 五十嵐 久也 教諭（新規採用）

歌声響き合う音楽朝会

音楽専科

5月16日(月)と17日(火)に、今年度初めての音楽朝会が行われ、「気球にのってどこまでも」の子供たちの元気な歌声と手拍子が体育館いっぱいに響きました。

今年度もコロナ感染予防のため、2回に分け、児童数を半数にして行っていきます。縦割り班の1組グループと2組グループで分かれ、マスクを着用して歌い合わせました。本校は高学年の子供たちが下学年の子供たちの見本となって様々な活動をリードしてくれます。また、下学年の子供たちは、自分も今の6年生、5年生のような優しくて頼りがいのある素敵な高学年になりたいと憧れをもっています。今回の音楽朝会でも高学年の子供たちが、優しく頼もしく下学年の子供たちをリードしてくれました。特に、6年生が手本で見せてくれた手拍子は、ピッタリそろっていて見事でした。下学年の子供たちからは大きな拍手がわき起こっていました。全学年で心と息を合わせて楽しく歌い合わせることができました。

今年度は12月に音楽会が行われます。初回の音楽朝会を終えて、音楽会がより一層楽しみになりました。今後共、ご支援とご協力をどうぞよろしく願いいたします。

イングリッシュサポートコースについて

E S C主任

令和4年度は、南山小学校にイングリッシュサポートコース(E S C)が設置されてから6年目となり、初めて全学年にE S Cの児童が在籍している節目の年です。

イングリッシュサポートコースは、日本語を話さない外国籍の児童が、日本の公立小学校の豊富なカリキュラムと多様な体験に参加するための手段として設立されました。担任とE S T(イングリッシュサポートティーチャー)が協力しながら、さまざまなバックグラウンドをもつ子どもたちが自由に学び合える、言葉の壁がない学習環境を提供しています。

E S Cの児童が受ける授業は、主に2つのスタイルがあります。ひとつは、生活、道徳、図工などの教科を学ぶ「クラスでの学習」。この授業は担任が担当し、E S TはE S Cの児童に授業内容を英語で伝え、また、E S Cと通常の学級の児童が自由に意見を交換できるように通訳の役割を担います。

もうひとつは、国語と算数の「E S C教室での授業」です。これらの授業は、E S Cの児童がE S Tと別の教室に移動し行われます。英語と算数の授業は英語のみで行われ、E S Cの児童は帰国後や他の英語圏に移住した際にも、英語でのコミュニケーション能力を維持できるように配慮しています。また、日本語の授業も行い、日本での生活をより充実したものにするための基礎的なコミュニケーション能力の確立を目指しています。

E S Cプログラムの主な目的は、E S Cの児童の日々の学校生活をサポートすることですが、南山小学校に在籍するすべての児童にユニークな環境を提供することで、学校全体にもよい影響をもたらしています。E S Cプログラムによって児童が言語や文化を交流する機会が増え、学校や地域社会の国際性を高め、「南山ブランド」をより豊かなものにしていきます。これからも、児童、ご家族、地域の皆さまとともに、よりよい学校づくりに励んでいきます。

6月行事予定

1日(水)	箱根移動教室(6年)	14日(火)	学力向上調査(4年)
2日(木)	箱根移動教室(6年)	20日(月)	避難訓練
6日(月)	投げ方教室(1・2年)	22日(水)	クラブ
7日(火)	投げ方教室(3~6年)、都学力向上調査(5年)	29日(水)	漢字パーフェクトテスト
13日(月)	水泳指導始	30日(木)	計算パーフェクトテスト

6月生活目標

友だちのいいところを見つけよう <ふれあい月間>

